

令和7年度の少年海外体験学習事業「バンコク友好の翼」の取組

令和7年度においても研修先をタイ・バンコクとし、バンコクにあるチュラローンコーン大学附属小学校にて学校交流を行いました。

5月に町内小学校6年生を対象に参加団員を募集し、面接などを経て26名の団員が参加しました。



THAILAND X KOGE

事前研修

バンコク出発に向けて

タイ・バンコクでの本研修に向けて、渡航にあたっての注意事項、タイの文化・生活習慣・外国語などを全5回の事前研修を通して学びました。また、参加団員との交流を深めることで仲間意識を高めました。



ALT及びCIRによる英語の授業を行いました。また、立命館アジア太平洋大学タイ人留学生を講師に招き、タイの文化や生活習慣を学びました。



第4回目の事前研修では、タイ渡航時に披露するソーラン節の練習を行いました。

本研修

バンコク渡航

8月16日(土)～8月22日(金)の1週間でバンコクに渡航し、本研修を実施しました。



チュラローンコーン大学附属小学校にて歓迎セレモニーが行われ、ソーラン節を披露しました。



ワットアルンや王宮等の歴史的建造物などを見学し、タイの歴史や文化を学びました。

訪日事業

チュラローンコーン大学附属小訪日

9月28日(日)から10月5日(日)まで、タイ・バンコクにあるチュラローンコーン大学附属小学校から5年生32名が上毛町を訪れ、西友枝体験交流センター「ゆいきらら」を拠点に、町内小学校との体験交流や、日本の家庭生活を体験するホームステイ、両国の交流を記念する植樹会、交流会など様々な交流を行いました。



輪投げなど日本の昔遊びや生け花体験を通し日本の文化に触れました。

国際社会で活躍できる人材を育成する

グローバル化が急速に進展する今日の国際社会では、文化、政治、経済など様々な面において国境を越えた国際交流が活発化し、相互連携関係がますます深まっています。

こうした中で我が国が存在感を高めていくためには、これまで培ってきた教育、科学技術、文化などの力を広く国際社会に発信していくことが重要です。このためには、国際社会で活躍できる人材の育成と海外の優秀な学生などの受け入れ、双方向の人的交流を活性化させ、新たな価値を生み出せる想像力、更には国際社会で自らの考えを積極的に発信する能力を養うことが重要です。

※上毛町国際交流推進協議会は、以下の構成員で組織し、外国語教育の充実と国際人たる人材の育成を図り、国際交流を推進することを目的に設置され、国際交流に係る諸事業の審議を行います。

●構成員 町長、議会議長、教育長、小中学校長、PTA会長、子ども育成会会長、自治会会長、学識経験者

上毛町では、総合計画に「学校教育の充実と国際交流の推進」を掲げ、国際的な視野と物の見方・考え方にたった国際人たる青少年の育成を図るため、旧新吉富村は平成2年度から、旧大平村は平成9年度から少年海外体験学習事業を実施し、これまでに831名の小中学生が参加しています。事業の内容については、毎年度開催される上毛町国際交流推進協議会※において、国際人たる人材の育成が効果的に行われているのか、安全性は確保されているのかなど十分審議し、決定しています。

令和8年度についても様々な場面での国際交流を推進し、グローバル社会に対応した人材の育成に努めています。



上毛から国際人を！

さまざまな分野で国際化が進展し、1つの国に限らず、世界中の人々が共存することが不可欠な時代です。そして、国際社会においては、子どもたちが日本人としての自覚を持ち、主体的に生きていく上で必要な資質や能力を育成することが大切です。

それは、郷土や日本の歴史、伝統文化や先人の生き方など、過去について学ぶとともに、世界で活躍している人々や最先端の技術など未来に触れることで、人の過去と未来を知ることであり、ひいては、自分の過去と未来をつないでいくことでもあります。こうした過去と未来をつなぐ学びを通して、自らの生き方を考え、志を持ち、チャレンジ精神にあふれた、世界で活躍できる真の国際人を育てていきます。

町の将来、日本の未来を託していく子どもたちは、家族だけでなく、地域にとっても、社会にとっても大切な存在です。「ひとづくり」における教育は、形として目には見えませんが、上毛町の児童生徒が英語教育や学習、体験活動を通じて、国際社会で大いに活躍するための一助となるよう地域と学校が一体となって、これからも国際交流の取組を続けて参ります。



交流10周年 より強い絆づくり

上毛町とチュラローンコーン大学附属小学校との交流は平成27年度からスタートし、令和7年度で交流10周年を迎えることとなりました。この10年間で上毛町からは216名の児童がバンコクを訪れ交流を行いました。一方、訪日事業ではチュラローンコーン大学附属小学校の児童244名が上毛町に訪れ、町内4つの小学校で交流を行いました。また学校交流以外にもホームステイや社会見学を通じ、お互いの文化や生活様式、他、自然や習慣の違いなどを経験し、交流を深めてきました。令和8年5月9日(土)には交流10周年を記念して記念式典が執り行われました。

式典では、日本の伝統芸能やチュラローンコーン大学附属小学校の児童によるマーチングバンドやタイの伝統舞踊などが披露され、両国の文化に触れることができました。また式典後の記念交流イベントでは、各ブースにて両国の子どもたちが一緒に交流が行われました。

令和8年度も8月15日(土)に町内の小学6年生30名がバンコクに渡航します。これまでの10年間で本事業に参加した先輩方が築いたタイとの絆を大切にしながら、ここから新たな交流の芽が生まれることを期待しています。また初年度に本事業に参加した児童は今では既に成人を迎えています。両国の児童が交流後も互いに切磋琢磨しながら共に成長し、大人になってからも交流の関係が継続することで、互いの友好関係がより一層深まることを願っています。

